

はじめに (マグネットの位置決め)

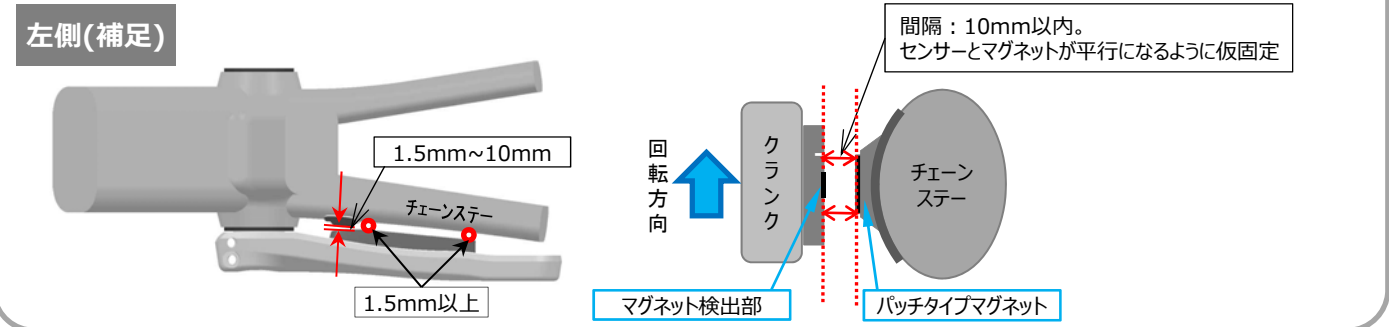
ペダリングモニターセンサーを自転車に取り付けた後、以下の①の接続準備を行ってください。
〔準備〕ローラー台等を利用して、自転車を固定してください。

①マグネットの位置決め (仮固定)



注：左側マグネット貼り付け位置は、SGY-PM910シリーズと異なります。

注：マグネットは1度貼り付けたら再利用できません。マグネット検出確認後、本固定。



- スマートフォンを使用する場合
- スマートフォンを使用しない場合
- 2ページ：「サイクルコンピューターSGX-CA600との接続手順」へ
- 3ページ：「サイクルコンピューターSGX-CA500との接続手順」へ
- 4ページ：「他社製 ANT+サイクルコンピューターとの接続手順」へ

Cyclo-Sphere Control Appとの接続手順

Cyclo-Sphere Control Appからのペダリングモニターセンサーの校正手順です。ダウンロードはこちら

①の接続準備完了後、以下の設定を行うことでご使用いただけます。

注：以下の設定例はSGY-PM930Hの場合です。930HL/HRの場合は、片側のみ設定します。アプリを利用するにはOSのバージョンが対応している必要があります。SGY-PM910シリーズは、Cyclo-Sphere Control Appと接続できません。

「Cyclo-Sphere Control App」起動。

ウィザードを用いた設定：クランクを3回転ほど回転させてセンサーを起動後、以下の手順を行ってください。完了すると「ライブペダリング」が使用可能です。

「新規デバイスの追加」を押す

追加可能なセンサーが表示されるので選択

デバイス接続が完了すると「ウィザード」が起動します

「ウィザード」に従って以下の操作を行ってください。

「ファームウェアアップデート」
⇒「モード選択」
⇒「マグネット校正」
⇒「ゼロ点校正」

【ライブペダリング】

【サイクルコンピューターとの接続】
サイクルコンピューターとペアリングしてください。
⇒2、3ページ参照

サイクルコンピューターSGX-CA600との接続手順

ペダリングモニターモード時の接続手順です。①の接続準備完了後、以下の②～⑤の設定を行うことで使用いただけます。

注：以下の設定例はセンサーがSGY-PM930Hの場合です。

SGY-PM930HL/HRの場合は、それぞれ左側/右側のみ設定を行います。



SGX-CA600

②ペダリングモニターモード切り替え・ペアリング (出荷時デュアルパワーメーターモードのためペダリングモニターモードに切り替えます)



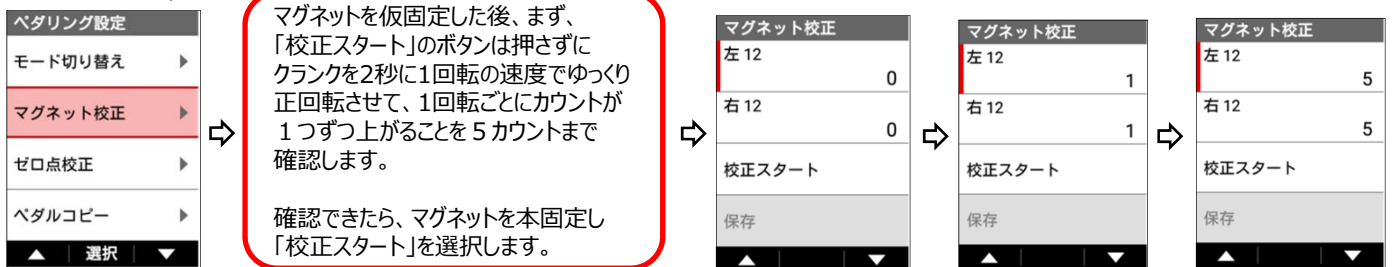
デバイス番号
例.12



注：モード切り替え・ペアリングできない場合、センサーがスリープ状態に入っている可能性があります。その際は、クランクを3回転ほど回転させて、センサーを起動してください。

以下、③～⑤の設定は、1ページ目のCyclo-Sphere Control Appで実施済の場合は不要です。

③マグネット検出/固定



マグネットを仮固定した後、まず、「校正スタート」のボタンは押さずにクランクを2秒に1回転の速度でゆっくり正回転させて、1回転ごとにカウントが1つずつ上がることを5カウントまで確認します。

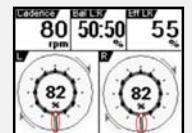
確認できたら、マグネットを本固定し「校正スタート」を選択します。

④マグネット校正



注：マグネット校正は、車体に装着したペダリングモニターセンサーの専用マグネットの位置を変えたり、貼り替えた場合や、クランクを別の自転車に装着した場合には、必ず行ってください。

注：マグネット校正を1度も行っていないとペダリングベクトル表示が、下図のように、下向きに1本表示された状態のままのため、必ずマグネット校正を実施してください。



⑤ゼロ点校正・パワーがかかっていない状態を記憶させます。クランクアームを地面に対して垂直になる位置で静止させます。



注：お客様にもゼロ点校正を実施していただくようご説明願います。ゼロ点の値がずれている場合に実施してください。その際、クランクが外気温に十分なじんだ状態で実施してください。

±3N以内であることを確認

サイクルコンピューターSGX-CA500との接続手順

ペダリングモニターモード時の接続手順です。①の接続準備完了後、以下の②～⑤の設定を行うことで使用いただけます。

注：以下の設定例はセンサーがSGY-PM930Hの場合です。

SGY-PM930HL/HRの場合は、それぞれ左側/右側のみ設定を行います。



SGX-CA500

②ペダリングモニターモード切り替え・ペアリング

デバイス番号を入力

チェックを入れる

モード切り替え

ペアリング完了

・ペダリング効率・ベクトル表示を使用するには、ペダリングモニターモードに切り替えます。

本設定をすることにより、ペアリングも完了します。

注：モード切り替え・ペアリングできない場合、センサーがスリープ状態に入っている可能性があります。その際は、クランクを3回転ほど回転させて、センサーを起動してください。

以下、③～⑤の設定は、1ページ目のCyclo-Sphere Control Appで実施済の場合は不要です。

③マグネット検出/固定

・マグネットが正しく検出できるか確認します。

a. 「オプション」→「ペダリング設定」→「マグネット校正」を選択します。

b. 「校正スタート」のボタンは押さずにクランクを2秒に1回の速度でゆっくり正回転させて、1回転ごとにカウントが1つつ上がることを5カウントまで確認します。

①で仮固定したマグネットの裏側の剥離紙を剥がして同じ位置に本固定します。

④マグネット校正

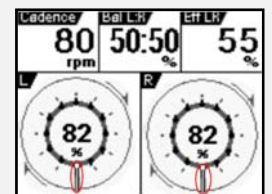
・マグネットの位置情報を記憶します。

a. 「校正スタート」ボタンを押します。

b. クランクを2秒に1回の速度でゆっくり正回転させて1回転ごとにカウントが1つつ上がることを5/5カウントまで確認します。

c. 「保存」ボタンを押し、「成功」と表示されたら「OK」ボタンを押します。

注：マグネット校正を1度も行っていないとペダリングベクトル表示が、下図のように、下向きに1本表示された状態のままのため、必ずマグネット校正を実施してください。



⑤ゼロ点校正

「オプション」→「ペダリング設定」→「ゼロ点校正」

・負荷がかかっていない状態を記憶させます。

a. クランクアームを地面に対して垂直になる位置で静止させます。

b. 「オプション」→「ペダリング設定」→「ゼロ点校正」を選択します。

c. 「左右ゼロ点校正」ボタンを押します。

d. 「成功」と表示されたら「OK」ボタンを押します。以上で設定は終了です。

他社製 ANT+サイクルコンピューターとの接続手順

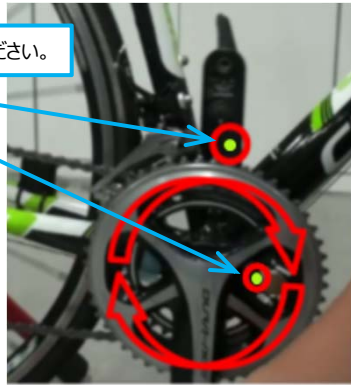


ANT+サイクルコンピューター

シングルパワーメーターモード、デュアルパワーメーターモード時の接続手順です。
 ①の接続準備完了後、以下の②～④の設定を行うことでご利用いただけます。
 注：以下の設定例はセンサーがSGY-PM930Hの場合です。
 SGY-PM930HL/HRの場合は、それぞれ片側のみ設定を行います。

②マグネット検出/固定

LED: 1回転に1回、**緑色**に光ることを確認してください。



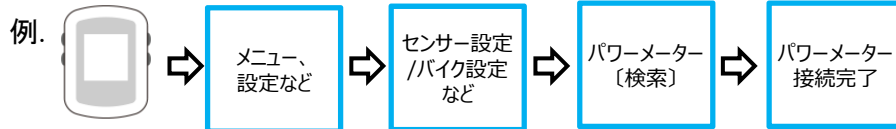
・センサーがマグネットを正しく検出できるか確認します。

②でセンサーを起動後、5分以内にマグネット検出を行ってください。

クランクを2秒に1回の速度でゆっくり回転させて、1回転ごとにLEDが緑色に光ることを5回転以上確認します。

①で仮固定したマグネットの裏側の剥離紙を剥がして同じ位置に本固定します。

③ANT+ サイクルコンピューターとのペアリング



ANT+サイクルコンピューター



デバイス番号

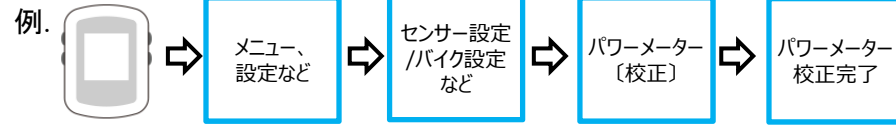
検索で見つからない場合
デバイス番号を入力

詳細な手順は、他社ANT+サイクルコンピューターのマニュアルをご確認ください。

注：ペアリングできない場合、センサーがスリープ状態に入っている可能性があります。その際は、クランクを3回転ほど回転させて、センサーを起動してください。

以下、④の設定は、1ページ目のCyclo-Sphere Control Appで、実施済の場合は不要です。

④パワーメーターの校正



ANT+サイクルコンピューター

詳細な手順は、他社ANT+サイクルコンピューターのマニュアルをご確認ください。

以上で設定は終了です。

※**シングルタイプ**を追加購入の場合は手順が異なります。

追加購入により、SGY-PM930HL/HR左右のセンサーが揃ったら、現在、左右それぞれシングルパワーメーターモードとなっているのをデュアルパワーメーターモードにモード変更します。
 モード変更後は、上記、②～④の設定を行うことでご利用いただけます。

[シングルパワーメーターモード → デュアルパワーメーターモード への切り替え手順]

- ・電池を抜き差しした後、右側送信機内のプッシュスイッチを3秒長押しする。LEDが**緑色**に点滅開始し、次に**オレンジ色**に**高速点滅**します。
- ・左右のセンサーが**高速点滅**していることを確認し、再度プッシュスイッチを3秒長押しする。
- ・デュアルパワーメーターモードに切り替わり、LEDが**オレンジ色**に10秒間点灯します。

